

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	兵庫県立 氷上高等学校 職・氏名 教諭 水野 是清	研究チーム名 (食品加工科授業研究チーム)
-----------------	------------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 (1)

(1)研究テーマ
視覚教材の導入による授業改善と自ら理解して行動できる学習環境づくり
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>5月 視覚教材の検討・作成・実践 場所：HR教室 方法：授業の中で使いたい絵や写真を光沢紙にカラー印刷し、ラミネートして提示する。 成果：絵や写真を使うことで、生徒の反応は上々であったが、黒板に貼っている絵や写真をノートに書き写すことができないという課題が残った。</p> <p>6月 研究授業 場所：HR教室 方法：教室後方よりビデオカメラによる授業風景の撮影を行った。 成果：授業の展開について客観的に捉えることができた。展開が単調で興味・関心を引くことができているため、生徒の授業に対する集中度が低いという課題が浮き彫りになった。授業中に行った簡単な実験には生徒が興味を示していたので、実験等の動きのある授業展開を検討していくことを目標とした。</p> <p>7月 視覚教材の検討・作成・実践 場所：実験室 方法：実験内容をスライドで説明する。(大型ディスプレイ使用) 成果：実験に用いる微生物の写真を大きく表示することで、生徒の興味をひくことができた。しかし、説明用のスライドの文字が多すぎたこと、画面が反射して見えにくかったことなど課題も残った。</p> <p>8月 実習棟の環境設定 場所：実習棟 方法：実習に用いる器具・材料等の片づけ方を写真で提示する。 成果：片づけの際に、写真を見て自ら片づける生徒も見られた。今後、この取組を継続し、主体的に動いて実習ができるようにさせたい。</p> <p>9月 実験室の環境設定 場所：実験室 方法：実験器具を棚やロッカーなど見えない場所に片づけ、実験室に常置しない状態にする。 成果：授業中に実験器具で遊ぶ生徒がいなくなった。前を向くことが多くなった。</p>